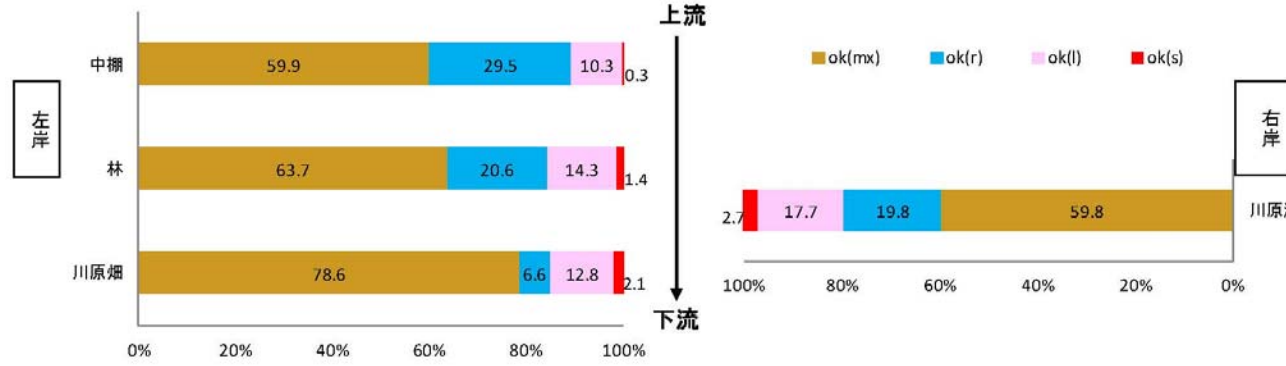


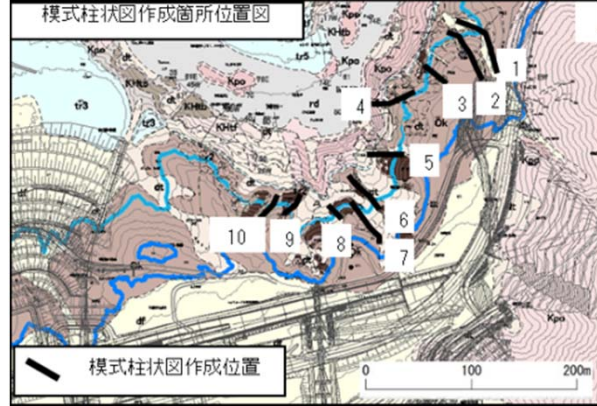
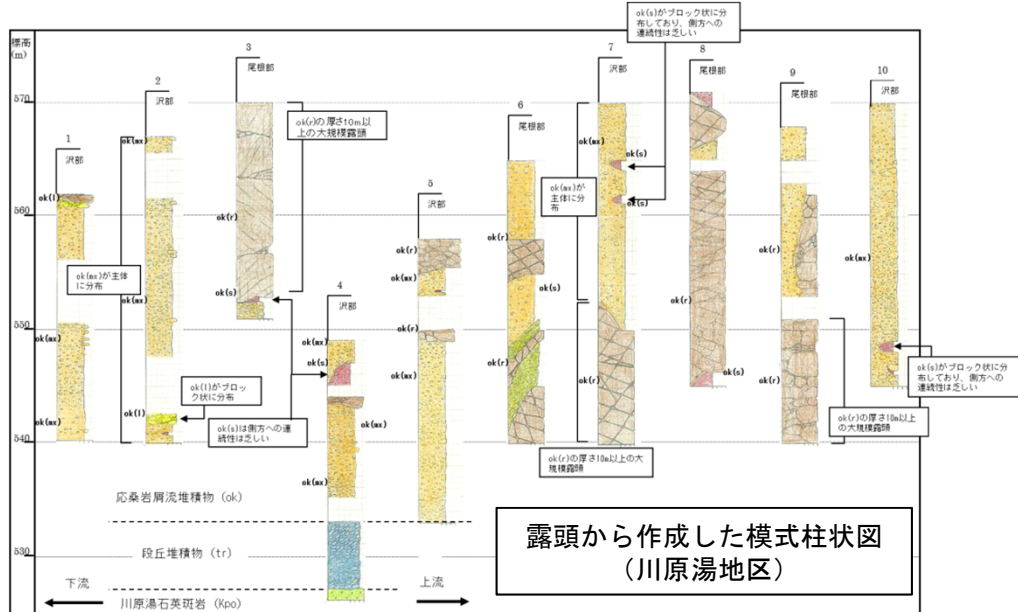
地すべり等精査について(応桑岩屑流堆積物斜面)

- 応桑岩屑流堆積物の鉛直及び水平方向の地質構成を把握するため、ダム貯水池周辺の露頭調査、ボーリングコア観察等を行った。
- ・ 応桑岩屑流堆積物を構成する層相「ok(r)、ok(l)、ok(s)」は、層相の変化が激しく、特定の地層が連続して分布する傾向は認められず、規則的な堆積構造や、基本的な万有引力の法則に従った下から上に向かって堆積する(下にあるものほど、古い)累重様式をもたない。
- ・ 応桑岩屑流堆積物と基盤岩との境界面は密着しており、境界面に粘土層や軽石層などのすべり面となる弱層は確認できない。

応桑岩屑流堆積物の地区毎の地質構成



- コア観察の結果、地区毎に各地質が占めるコア長の割合をまとめた。
- ・ ok(mx)は、いずれの地区でも60%程度の割合を占めている。
- ・ ok(s)は、いずれの地区も3%以下の含有率である。



- 凡例
- 応桑岩屑流堆積物 混在部 ok(mx)
 - 応桑岩屑流堆積物 火山岩塊 ok(r)
 - 応桑岩屑流堆積物 火山礫を主体とするブロック ok(l)
 - 応桑岩屑流堆積物 火山砂を主体とするブロック ok(s)
 - 段丘堆積物 tr
 - 基盤岩

- 深度方向の応桑岩屑流堆積物の地質構成から確認できる層相の特徴
- ・ 各層相とも、良く締まっている。
- ・ 基盤岩との境界部は密着しており、粘土層や弱層は認められない。
- ・ 応桑岩屑流堆積物の層相は、規則的な堆積構造をもたない。

■ 針貫入試験結果から強度特性として軟岩程度以上の強度を有していること、露頭調査等から分布特性として内部に弱層の連続性はなく、また、大規模な崩壊やすべり面はないことが確認できたため、ハツ場ダム貯水池及びその周辺に分布する応桑岩屑流堆積物からなる斜面の安定性は高いと判断される。